

## 第29回施肥技術講習会募集要項

(第3回基礎・実学混合コース、普及職員向け)

1. 主催： 一般社団法人 全国肥料商連合会

2. 後援： 農 林 水 産 省

3. 日 時： 2020年2月19日(水)～20日(木)

2月19日 〈基礎コース・実学コース合同受講〉

8:30 受 付

9:15～9:30 開講式

9:30～17:35 講 義

17:35～17:45 閉講式 (実学対象者)

2月20日 〈基礎コース受講者〉

9:00～10:20 実 習

10:30～12:25 検定試験

12:25～12:40 閉講式

4. 場 所： 東京農業大学 農大アカデミアセンター 「横井講堂」

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1

TEL03-3426-1771(全国土の会)

交通： JR 山手線渋谷駅小田急バス・東急バス 約30分

小田急線経堂駅 徒歩10分

東急田園都市線用賀駅 徒歩20分 (バス10分)

5. 講 師： 渡辺 和彦 先生 (元東京農業大学客員教授)

後藤 逸男 先生 (東京農業大学名誉教授)

小川 吉雄 先生 (鯉淵学園農業栄養専門学校教授)

六本木和夫 先生 (元埼玉県農林総合研究センター部長)

(法令・法規) 農水省専門担当官 (農林水産省消費・安全局農産安全管理課)

\*講師プロフィールは別紙の通り

6. カリキュラム： 講義スケジュール表をご参照下さい。

7. 講義内容： ① 4人の講師の講義時間は1講義90分、休憩10分で実施します。

- ② カリキュラムは 90 分を 2 分割し、前半は基礎コース、後半は実学コースの講義内容で実施し、質疑応答を設けます。
- ③ 法規・法令は、農水省より専門担当官派遣の上解説頂きます。(50 分)
- ④ 実習は富士平工業、藤原製作所、シーメンスヘルシア、堀場製作所による簡易土壌分析機器、放射能測定器の実演・演習を行います(検定試験の対象外とします)。
- ⑤ 基礎コースのテキストは、教材「環境・資源・健康を考えた『土と施肥の新知識』」を使用しますので、既に教材をお持ちの方は教材費 2 千円を受講料から差引きます。
- ⑥ 実学コースのテキストは、各講師が作成したプロジェクター資料を配布します。

8. 募集人数： 定員 150 名。 受講生は全肥商連会員（肥料商、商社、肥料メーカー等）、普及指導員、日本 GAP 協会会員、日本農業法人協会等の方々です。

#### 9. 検定試験：基礎コース受講者対象

一般会員は 2 日目講習会終了後、検定試験を実施しますが、県職員・普及指導員の方は検定試験を免除します(希望があれば受験可能)。

従いまして 1 日目で修了するカリキュラムとなっておりますが、2 日目の土壌分析機器実習への参加ご希望がありましたら、その旨申込書に記載しご参加下さい。

#### 10. 更新の選択：実学コース受講者対象（施肥技術マイスター登録者）

受講後の手続きにより登録が変わりますので、何方かを選択して頂きます。

##### (A) 「施肥技術シニアマイスター」 （新規登録）

受講後 3 週間以内に、講師からの課題についてレポート（A 4 判用紙 2 枚）を提出し、講師が評価します。(パソコンにて作成可)

##### (B) 「施肥技術マイスター」 （更新登録）

受講だけで、レポート提出は不要です。

\* (A) (B)何れも、登録料、更新料として 5,000 円をお振込みの上、認定証カード用写真 1 枚（3.5×4.5cm、裏面に氏名記載）を郵送願います。

#### 11. 申込み方法及び受講料：

【申込方法】別添の申込書に必要事項をご記入の上、必ず FAX にてお申込み願います。

##### 【受講料】(1) 基礎コース

a) 教材「土と施肥の新知識」をお持ちでない方・・・ ¥10,000 円

b) 教材「土と施肥の新知識」をお持ちの方・・・ ¥8,000 円

教材を既にお持ちの方は、教材費 ¥2,000 を差引き ¥8,000 となりますので、申込書教材欄「不」に○印を付けて下さい。

**(2) 実学コース：¥10,000円**

テキストは講師が講義で使用するパワーポイント資料を編集し、当日配付します。

※上記「基礎コース」、「実学コース」の受講料にはお茶代、昼食代として¥1,500円を含んでいますので、領収書は分割発行致します。

**お支払い： 2月5日（水）迄に下記口座へ期日厳守にてお振込み願います。**

※ 請求書や領収書が必要な方は、FAXでお申込時にその旨ご記載願います。

**【振込先】：**

みずほ銀行 銀座通支店（ギンザトウチテン）

普通預金 1045075

口座名義 「全国肥料商連合会」

- 12. 意見交換会：** 1日目講義終了後、有志により講師を囲んだ意見交換会を行います。講義内容の補完、生産現場での情報交換の場としてご活用下さい。  
(立食・ドリンク付¥3,000円)。
- 13. 認定登録：** **基礎コース：**「施肥技術マイスター」登録を希望される方は、講習会終了後登録申請頂きますと「登録認定証」と「認定カード」を発行します。その際、登録料として5,000円をお振込み願います（5年毎に更新）。また「施肥技術マイスター」登録を希望されない方は、その旨ご連絡頂いた後「受講修了証」を発行致します。
- 14. 募集締切り：** 2月5日（水）迄に、希望されるコースの受講申込書に、必要事項を記載の上FAXでお申込み下さい。  
但し、申込人数が定員に達し次第、締切らせて戴く場合もあります。
- 15. 宿泊：** 常時混雑が予想されますので、各自早めにご予約願います。

以上

令和元年 月 日

(一社)全国肥料商連合会 殿

(FAX : 03-3817-8882)

**基礎コース 受講申込書 (第29回・東京都/普及職員)**

所属名 :

担当者名 :

住所 : 〒

TEL :

FAX :

※申込締切 : 令和2年2月5日(水)

第29回施肥技術講習会を受講したいので、下記の通り申し込みます。

受講者名	生年月日	年齢	性別	認定	教材	意見交換会
①	T/S/H		男・女	済・無	要・不	参加・不
②	T/S/H		男・女	済・無	要・不	参加・不
③	T/S/H		男・女	済・無	要・不	参加・不
④	T/S/H		男・女	済・無	要・不	参加・不
⑤	T/S/H		男・女	済・無	要・不	参加・不
⑥	T/S/H		男・女	済・無	要・不	参加・不

\* 「施肥技術指導員」に認定されている方は認定済に、教材は「土と施肥の新知识」を指しますので、それぞれ該当欄に○印を付けて下さい。

受講者E-Mailアドレス :

① \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

④ \_\_\_\_\_

⑤ \_\_\_\_\_

⑥ \_\_\_\_\_

令和元年 月 日

(一社)全国肥料商連合会 殿

(FAX : 03-3817-8882)

実学コース 受講申込書 (第29回・東京都/普及職員)

所属名 :

担当者名 :

住所 : 〒

TEL :

FAX :

※申込締切 : 令和2年2月5日(水)

第29回施肥技術講習会を受講したいので、下記の通り申込みます。

受講者名	生年月日	年齢	性別	登録番号	有効期限	意見交換会
①	T/S/H		男・女			参加・不
②	T/S/H		男・女			参加・不
③	T/S/H		男・女			参加・不
④	T/S/H		男・女			参加・不
⑤	T/S/H		男・女			参加・不
⑥	T/S/H		男・女			参加・不

受講者E-Mailアドレス :

② \_\_\_\_\_

④ \_\_\_\_\_

⑥ \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

④ \_\_\_\_\_

⑥ \_\_\_\_\_

# 第29回施肥技術講習会／講義スケジュール表

2020年2月19日(水)～20日(木)

主催:(一社) 全国肥料商連合会 後援:農林水産省

NO	2月19日(水)		講師	講義内容
	8:30	受付		東京農業大学「横井講堂」
	9:15～9:30	開講式		
1	9:30～10:20		農水省	I. 肥料取締法の概要
	10:20～10:30	休憩		
2	10:30～11:15	<基礎コース>	後藤	II-①. 土壌と施肥の基礎知識 1. 土壌の生成・分類・特性 2. 土壌の物理性、化学性、生物性
3	11:15～12:00	<実学コース>		II-②. 土壌診断に基づいた施肥 1. 土壌診断分析法の基本と最新技術の紹介 2. 実践、土壌診断分析結果に基づいた施肥管理 3. 土壌改良資材の特性と上手な使い方
	12:00～12:45	昼食		
4	12:45～13:30	<基礎コース>	小川	III-①. 施肥の原理と肥料の種類・特性、施肥の方法 1. 施肥の原理、肥料が必要な理由 2. 各種肥料の分類と特性 3. 施肥量の決定方法、肥料の利用率 4. 農産物の品質と施肥
5	13:30～14:15	<実学コース>		III-②. 物質循環を中心とした施肥と環境影響 1. 農業と環境 2. 物質循環の破綻と環境影響 3. 物質循環を中心とした施肥管理
	14:15～14:25	休憩		
6	14:25～15:10	<基礎コース>	六本木	IV-①. 作物別特性と施肥法 1. 水田土壌の特性と施肥(水稻) 2. 畑土壌の特性と施肥(露地野菜) 3. 施設土壌の特性と施肥法 4. 茶園・果樹園の土壌の特性と施肥
7	15:10～15:55	<実学コース>		IV-②. リアルタイム診断と施肥管理 1. 養液土耕栽培(かん水同時施肥) 2. リアルタイム栄養診断と必要性な3条件 3. リアルタイム診断の手順(動画を含む) 4. 栽培現場における診断(硝酸イオン測定)の簡易器具
	15:55～16:05	休憩		
8	16:05～16:50	<基礎コース>	渡辺	V-①. 肥料・ミネラルの作物と人でのはたらき① 1. 農水省が硝酸態窒素に対する考え方を変えた! 2. 有機物施用で生じる微量要素欠乏(特にホウ素、マンガン、銅、亜鉛)
9	16:50～17:35	<実学コース>		V-②. 肥料・ミネラルの作物と人でのはたらき② 1. 高品質、多収穫の施肥のポイント、注意点(隠れた元素、マグネシウム、イオウ、) 2. 特にホウ素、ケイ素について最近の進歩 人の健康にも大きな効果 補足・・・鉄ミネラル野菜生産についての新情報
	17:35～17:45	閉講式		※終了後実学コースの方は解散
	18:00～20:00	意見交換会		*有志により実施(会場:大学内レストラン「すずしろ」)
	2月20日(木)			※基礎コースのみ実施します。
	8:30	受付		東京農業大学「横井講堂」他
10	9:00～10:20	実習	メーカー技師	VI. 簡易土壌分析機器・放射線測定器 みどりくん/農家のお医者さん/RQフレックス/ 環境放射線モニタRadi コンパ外水質計LAQUAtwin等
	10:20～10:30	休憩		
	10:30～11:30	検定試験(1)		
	11:30～11:45	休憩		
	11:45～12:25	検定試験(2)		
	12:25～12:40	閉講式		終了後解散

\*講義内容は、一部変更になる場合があります事ご了承下さい。

## 第29回全肥商連施肥技術講習会 講師プロフィール

(敬称略)

### 渡辺 和彦 (わたなべ かずひこ)

元兵庫県立農林水産技術総合センター部長、元東京農業大学客員教授

兵庫県立農業大学校嘱託、吉備国際大学非常勤講師

(一社)食と農の健康研究所所長、農学博士

植物栄養生理、微量元素の第一人者 食と農(ミネラルと人の健康)に造詣深く啓蒙に務められる。「野菜の要素欠乏・過剰症」、「原色生理障害の診断法」、「農業技術大系・土壌施肥編」、「ミネラルの働きと人間の健康」、「人を健康にする施肥」(総合監修)、「肥料の夜明け」他海外を含む著書多数執筆

### 後藤 逸男 (ごとう いつお)

東京農業大学名誉教授 東京農大発(株)全国土の会代表取締役

「全国土の会」会長 (農家のための土と肥料の研究会)

農学博士 土壌学及び肥料学を専門分野とする。土壌病害の総合防除対策、土壌改良資材の研究開発。農業生産現場に密着した実践的土壌学を目指す

「環境保全型農業事典」、「土壌学概論」、「施肥管理と病害発生」(共著)、

「土壌・肥料・植物栄養学用語集」、「土壌サイエンス入門」他多数執筆

### 小川 吉雄 (おがわ よしお)

元茨城県農業総合センター園芸研究所 所長

鯉淵学園農業栄養専門学校教授

農学博士 土壌・肥料学、米麦・畑作物栽培等を専門分野とする。

窒素循環の再生技術を研究、農業と環境問題を研究。「土壌肥料用語事典」、

「地下水の硝酸汚染と農法転換」、「トコトンやさしい土壌の本」(共著)他多数

### 六本木 和夫 (ろっぽんぎ かずお)

元埼玉県農林総合研究センター園芸研究所果樹担当部長

元女子栄養大学非常勤講師、日本石灰窒素工業会技術顧問

農学博士 野菜、果樹の土壌診断及び効率的施肥管理技術の研究に従事

農業経営を通じ、現場で役立つ施肥管理技術を実践。「野菜・花卉の養液土耕」

(共著)、「リアルタイム診断と施肥管理」、「土壌肥料用語事典」他多数執筆

### 農林水産省 (肥料取締法の概要)

農林水産省 消費・安全局農産安全管理課 専門担当官

以上